

# 名古屋大学地震火山・防災研究センター2006年度年次報告会

## 2007年3月27日(火)

名古屋大学環境学研究科レクチャーホール(環境総合館1階)

8:50-9:00 センター長挨拶

9:00-10:15 座長 大石真紀子・村瀬雅之

○山崎文人・山田 守 「御嶽山における地震活動と火山活動の関連性およびその推移」

○中道治久 「愛知県鳳来と旭における深部低周波微動のレイ観測」

○山田功夫 「中部地方プレート境界地震で観測される顕著な後続波(2)」

○飛田潤・福和伸夫・高橋広人

「大都市圏強震動総合観測ネットワーク:2006年の観測状況とデータ利用例」

○山田 守 「観測点廃止と地電位観測の今後」

【休憩 15分】

10:30-11:45 座長 杉戸信彦・羽佐田葉子

○杉戸信彦 「長野盆地西縁断層帯の地震時地表変位の再現性」

○鈴木康弘・渡辺満久(東洋大)・杉戸信彦・糸静線活断層変動地形研究グループ  
「糸静線活断層中北部(松本～岡谷)に見出された広域的横ずれ変位とその意義—塩尻ギャップ(7km)は存在しない—」

○林 能成・木村玲欧・藤田哲也・阪野智啓・安藤雅孝

「被災体験の体系的収集による災害実態の解明と教訓伝承に関する研究」

○鷺谷 威 「水準測量データで見た東海地域のプレート間カップリングの時空間変動と1944年東南海地震」

○渡部 豪 「プレート沈み込みと背弧拡大過程の測地・地震学的研究」

11:45-12:40

【昼食休憩】

12 : 40 - 13 : 55

座長 安田 仁・杉本慎吾

- 羽佐田葉子 「周波数領域の AR モデリングを用いたイベント解析法」
- 渡辺俊樹・生田領野・山岡耕春（東京大）・藤井直之（静岡大）  
「弾性波アクロス震源の三河観測所への設置と東海監視計画への役割」
- 山内常生 「デジタル式 2 連地殻活動総合観測装置の開発（菊川地殻変動観測点の移設）」
- 仮屋新一・伊藤武男・山内常生 「地殻変動連続観測データのコンパイル及びデータ処理解析システムの整備と成果」
- 伊藤武男 「GPS を用いた地球潮汐解析」

【休 憩 15 分】

14 : 10 - 15 : 25

座長 石川溪太・村瀬雅之

- 木股文昭 「測地学的手法から火山噴火準備過程へのアプローチ -100 年間耐えるデータを残そう-」
- 木村玲欧・安藤雅孝・木股文昭・田中重好・黒田達朗・海津正倫・高橋 誠・田淵六郎・伊藤武男・林 能成・伍 国春・林 良嗣  
「スマトラ災害文化育成プロジェクト ～ 『超巨大地震がやってきた』出版とその後の展望」
- Irwan Meilano 「Two years GPS Campaign in Aceh: postseismic deformation and slip along the Sumatra Fault Zone (SFZ)」
- 奥田 隆 「海底地殻変動-精度向上のために」
- 田所敬一・安藤雅孝・奥田 隆・渡部 豪・杉本慎吾・安田 仁  
「熊野灘および駿河湾における海底地殻変動観測」

【休 憩 15 分】

15 : 40 - 16 : 10

座長 渡部 豪・杉本慎吾

- 宮島力雄 「地震・火山観測とともに 40 年」

16 : 10 - 17 : 10

- 安藤雅孝 「海底地殻変動観測が必要とされる日本列島周辺の海域」

18 : 00 - 20 : 00

安藤先生と宮島さんの送別会兼懇親会（於 花の木）